

投稿者用チェックリスト

投稿資格

- ☐ 論文の筆頭著者は日本子育て学会の会員であり、投稿時、会費の未納はない。
- ☐ 「日本子育て学会機関誌 論文編 執筆・投稿要領」の「2 投稿原稿」の精神に合致する論文である。

研究者倫理

- ☐ 投稿する論文は未発表のものである。他の学会に並行して投稿はしていない。
※ただし、各種学会年次大会での口頭・ポスター発表は除く。
※内容的に関係の深い同一著者の論文、データを一部共有する論文がある場合には、それらのコピーも同封する。
- ☐ 論文の内容および研究手続き全般において、人権を尊重し福祉に配慮した。
※方法上配慮した点は、「倫理的配慮」として本文に記述する。
- ☐ 既存の測定尺度やデータの使用、写真などの提示にあたっては、当該研究者や協力者から投稿・公刊の承諾を得た旨を記載した。
- ☐ 原稿執筆に際して、偏見のない表現を用いた。

論文原稿

- ☐ 原稿作成はパソコンを使用し、A4用紙縦置き、横書きとした。
- ☐ 1ページ1,200字（40字×30行）と設定し、論文題目（日本語と英文）、要約（日本語と英文）、本文、文献、資料、図と表、付記、研究のメッセージのすべてを含めて、20枚（刷り上がり10ページ）以内である。
※題目の書かれたページからページ番号を印字する。
※上下左右の余白（2cm以上）および行間は十分にとる。
- ☐ 投稿原稿は「である」調で書き、常用漢字、現代かなづかいを用い、簡潔明瞭に記述した。英数字は半角文字を用いた。数字は算用数字を使用し、計測単位は原則として国際単位を使用した。
※略語は一般に用いられているものに限る。ただし、必要な場合には初出の時にその旨を明記する。
- ☐ 題目は、論文の内容を簡潔に表現している。
※日本語と英語の題目をつける。
- ☐ 日本語要約は400～600字、英文要約は200～250ワードである。
※どちらの要約にもキーワードを5語以内で付ける。
- ☐ 英文題目と英文要約は、熟達した人の校閲を経た。
※編集委員会が求めた場合には、校閲を証明する書類を提出する。

- ☐ 図表は、刷り上り本文の左右1/2幅もしくは左右いっぱいの幅に収めることを留意して作成した。
- ☐ 図と表は別紙に描き、表1、図1またはFigure 1、Table 1のように通し番号と題をつけた。図表の挿入希望箇所を、本文原稿の欄外に朱書きで指定した。
※図の題は下部に表の題は上部に書く。写真は図に含められる。説明文はいずれも下部に記す。
※図表、写真などを他の文献よりそのまま引用する場合は、著者自身が事前に著作権者より許可を得た上で、必ず出典を明示する。
※表の注は、該当する表の下に“注”と記して、文章で述べる。
- ☐ 特定箇所への注は、該当箇所の右肩に番号を記して、その内容をページ下ないしは文末に示した。
※検定における有意水準の注は、“*”を使って示す。
※統計などの表記については、APAのPublication Manualに準拠する。
- ☐ 研究のメッセージを記載した。
※保育者、保護者、支援者に向けて研究が示唆するメッセージを「です、ます」調を用いて平易なことばで記述する。
※文字数は400～800字とする。
- ☐ 文献リストを入念にチェックした。
※文献は、投稿原稿の末尾に著者名のアルファベット順に一括して挙げる。
※文献リスト中の著者名は、「ら」「et al.」などと省略せずに全員を記載する。
※雑誌名は省略しない。
※単行本は、著者名、刊行年次、表題、出版社名（外国のものは出版地も記す）の順、雑誌論文は、著者名、刊行年次、表題、雑誌名、巻数、ページ数を記す。
- ☐ 文献提示の仕方は「日本子育て学会機関誌 論文編 執筆・投稿要領」に則している。

投 稿

- ☐ 投稿票に(1)論文区分、(2)題目（日本語・英語）、(3)全員の著者名および所属（日本語・英語）、(4)代表者の住所、電話番号、メールアドレス、(5)論文ページ数（印刷仕上がりで換算して）、(6)要約字数・ワード数とキーワード数、(7)図、表、その他注などの数、(8)メッセージ字数を記入した。
- ☐ 無記名の投稿原稿を1部封入した。
- ☐ 投稿票を同封した。
- ☐ 無記名の投稿原稿と投稿票の電子ファイル（wordもしくはpdf）を保存したCD-Rを同封した。
- ☐ その他、関連論文等、必要なものを同封した。
- 同封したもの

※このチェックリストにチェックをし、同封してください。